

**当クリニックにおける患者説明用媒体に
関するコ・デンタルスタッフの取組みと
アンケート調査結果について**

○倉谷華奈*、石谷徳人**、徳永まどか*、
前田愛里*、前野孝枝**、山崎要一**

(* 医療法人 イシタニ小児・矯正歯科クリニック、
** 鹿大・院医歯・小児歯)

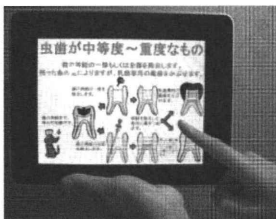
【 目的 】

当クリニックでは患者の継続的な管理の中で起こる様々な歯科的問題について、独自に考案した口腔管理の見取図(マイ・マネージメントマップ)と、これより派生した内容の説明用媒体を多数作成し、活用している。これらによって、患者、保護者、診療スタッフが視覚的に問題点を共有し、取組む意識を向上させて、継続的な来院に繋げることを目的としている¹⁾。

今回、iPadを用いた患者説明への取組みとアンケート調査結果について報告する。

【 iPadを用いた患者説明の取組み 】

当クリニックでは開業以来、スタッフが中心となって数多くの説明用媒体を作成してきた。その後、説明用媒体は数十枚となり、使用時に持ち運びが不便だけでなく、目的にあった説明用媒体を探し出すまでに多くの時間を浪費するようになった。そこで、自由に持ち運べ、素早く使えるiPadを導入し、説明用媒体を取込んで用いるようにした(下図)。



iPad内に収納した
説明用媒体の一例

導入当初は、歯科衛生士らが使い始めたが、歯科技工士、歯科助手、受付と業務内容を越えて全てのスタッフに広がり、現在4台のiPadが活躍するようになった。iPadによる説明について、患者や保護者がどのように受け止めているのかを調査し、今後の改善に繋げる目的でアンケート調査を行うことにした。

【 対象と方法 】

アンケートの対象は当クリニックに通院している患者および保護者である。アンケート方法は平成24年3月から300名になるまで無作為に対象者を選び、アンケートの協力をお願いした。アンケート用紙は待合室にて無記名で記入していただいた。

【 結果 】

- ・アンケート回答者数は300名で、内訳は保護者299名、患者本人1名であった。
- ・当クリニックでのiPadによる説明について、「大変わかりやすい」を選択した者が190名(63.3%)と最も多く、以下「わかりやすい」101名(33.7%)、「どちらともいえない」9名(3.0%)、「わかりにくい」、「大変わかりにくい」を選択した者はいなかった。
- ・以前の説明用媒体との比較について、「iPadによる説明がよい」を選択した者が211名(70.3%)と最も多く、以下「併用がよい」64名(21.3%)、「従来のものがよい」3名(1.0%)であった。
- ・iPadによる説明で使用希望の高いコンテンツとして、「むし歯治療の説明」を選択した者が181名(60.3%)と最も多く、以下「定期健診」122名(40.7%)、「矯正治療の説明」74名(24.7%)であった。
- ・当クリニック以外の歯科医院でiPadによる説明を受けた経験について、「ある」を選択した者が4名(1.3%)であった。

【 まとめ 】

iPadの導入によって、患者に素早く的確な説明ができるようになっただけでなく、スタッフによる患者への説明がより積極的になり、「伝えること」を楽しみながら説明用媒体を作成するようになった。市販ソフトは次々に便利な機能を付加して発売されているが、これからもスタッフと協力して手作り感のある説明用媒体を作り上げていくことは、利便性の高いソフトを活用する以上に意義のあることと感じている。

【 文献 】

- 1) 石谷徳人：iPadで患者さまとコミュニケーション—スタッフみんなで楽しくモチベーションアップ—、小児歯科臨床, 16(12)：39-45, 2011.